

令和 5 年度 第 2 回 北海道支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和 6 年 3 月 22 日（金） 北海道支社 3 階会議室	
委員 (五十音順、敬称略)	大浦 恵（公認会計士・税理士） 作間 豪昭（弁護士） 杉山 隆文（北海道大学大学院工学研究院教授） 田村 亨（室蘭工業大学 名誉教授） 平本 健太（北海道大学大学院経済学研究院教授） 山本 哲生（北海道大学大学院法学研究科教授）	
審議対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日	
抽出案件	総件数 4 件	備考
○工事	2 件	
・一般競争	0 件	—
・条件付一般競争	0 件	—
・拡大型指名競争	1 件	・札樽自動車道 朝里高架橋補修工事
・随意契約	1 件	・旭川管理事務所管内 ETC 設備改造工事
○調査等	1 件	・北海道支社管内 道路気象情報提供業務
○物品・役務	1 件	・蛍光 X 線分析装置購入
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【令和5年度第2回入札監視委員会審議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし 	
<p>【入札監視統一事務局の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし 	
<p>【入札・契約手続きの運用状況】</p> <p>「工事等業務の発注状況」</p> <p>「競争参加資格停止等の運用状況」</p> <p>「一次苦情及び一次説明処理状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし 	
<p>【抽出事案の審議】</p> <p>「札樽自動車道 朝里高架橋補修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加者のうち、指名者・非指名者の内訳は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名者 6 者、非指名者 3 者です。
<ul style="list-style-type: none"> ・非指名者は、どのような理由で指名に至らなかつたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件は希望エリアが北海道である者を指名要件としており、非指名者は当該指名要件を満たしていなかつたという理由です。
<ul style="list-style-type: none"> ・非指名者が競争に参加することは稀なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傾向まではつかめておりませんが、参加することあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・見積活用方式について、新工法や新材料はどのように価格に反映・採用するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の基準を満足しているもので、見積価格が妥当かつ安価なものを採用しております。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回非指名者が 3 者入ってきているが、いずれも入札額が高い。新しい材料を提案してきた際に、性能や基準面も含めて、落札者の決定方法等について考えていくべきではないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・拡大型指名競争入札を適用した理由として、橋梁工事は入札不調が多いとのことであるが、理由や傾向はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁補修工事の入札不調については、施工箇所の点在や施工ボリューム等の事情から過年度より多くみられるところです。建築工事や電気工事等も、拡大型指名競争入札方式を適用している傾向にあります。

<ul style="list-style-type: none"> 見積活用方式で契約制限価格を設定すると、契約制限価格に採用された者以外の者は、落札できない傾向にあるのでは。 入札不調対策として、今後は拡大型指名競争入札を適用する事案が増えていく傾向なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考見積書が契約制限価格に採用された者が落札する傾向はありますが、各競争参加者の判断で入札時に額を下げてくる場合もあります。 北海道新幹線工事や札幌再開発などで人手不足が懸念されますので、拡大型指名競争入札の適用は、状況を勘案しつつ適切に対応していく所存です。
<p>「旭川管理事務所管内 ETC設備改造工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 落札率 99.59%は、何に対する何の割合か。 本件のような見積活用方式の随意契約でありながら、結果的に入札金額が下がる理由はあるのか。 仮に契約制限価格と入札金額が同一、すなわち100%でも落札となるのか。 本工事は料金システムの変更とのことだが、道内の切り替えは一斉に行うのか。 深夜割引の見直しのことだが、適用開始時刻を22時に繰り上げても、待機車両がその時間帯にシフトするだけで、待機渋滞は減らないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約制限価格に対する応札額の割合です。本件も見積活用方式であり、競争参加者から提出された参考見積書を契約制限価格の根拠としております。 理由についての詳細は確認しておりません。 そのとおりです。 システムの切り替えは一斉に行います。 現行は深夜割引時間帯にわずかでも走行時間がかかるれば、流入 IC から流出 IC までの全区間深夜割引対象となりますが、今回の変更で深夜割引時間帯に制限速度で走行した距離相当分だけ割引対象とするシステムとするため、待機渋滞は減るものと考えております。
<p>「北海道支社管内 道路気象情報提供業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「参加表明」と「技術提案」で2者の評価点数が逆転しているのはなぜか。 2者において「技術提案」の中身で特徴的な違いはあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「参加表明」の時点では実績・資格を確認して点数付けしております。「技術提案」は具体的な提案の内容を受けて評価しております。結果的に、ごく僅差でしたが、逆転したということになります。 予測精度の向上に資する具体的な提案などがあつた点になります。

<ul style="list-style-type: none"> ・発注者の求めるものにより近かった者がより高い評価を受けたということか。 ・評価を行うのは、NEXCO 東日本の社員か。 ・評価者が 3名いるが、多数決ということか。 <p>「蛍光X線分析装置購入」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約制限価格はどのように決定するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・NEXCO 東日本の社員で、実際に競争参加者からヒアリングを行った者になります。 ・評価項目毎に行ってています。 <ul style="list-style-type: none"> ・本件は見積活用方式であり、競争参加者の参考見積書がベースとなります。
<p>【審議結果の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札方式別に抽出した 4 件の案件についての工事等の概要、業者選定理由、入札までの経緯の説明を受け、当委員会において審議したところ、適正に処理されていることを報告いたします。 	